

地域医療連携室だより



日本医療機能評価機構指定病院

Vol.11

2009.8.12

残暑の候、 いかがお過ごしでしょうか？



地域医療連携室長（副院長）
清水淳三

今年もうとうしい梅雨を過ごしておりますが、先生方はいかがお過ごしでしょうか？ 日頃より大切な患者様を北陸病院にご紹介頂き、心より感謝申し上げます。前月号（Vol.10）が上梓された今年4月頃よりは今の方が、世の中の景気がやや持ち直した感があります。環境に優しいエコ車が半年以上の予約待ちと聞かされ、厳しい医療業界に身を置く者としてはうらやましく思えます。

さて今回は、全国の地域医療の深刻な問題である「医師不足」の問題を、少し側面から眺めてみようと思います。文科省は、医師不足解消の対策として、2009年国公私大のほとんどの入学定員増を実施しました。果たしてこの付け焼刃的な増員策で、深刻な地域隔差、診療科隔差が解消するのでしょうか？ 医学部の学生が一人前になるには、少なくとも10年はかかるし、果たしてその間、地域医療や診療隔差のある科は持ちこたえることができるのでしょうか？ 仮に持ちこたえたとしても、新しい医師が医師不足の地域あるいは診療科に進んでくれるという保証はありません。むしろ、いたずらに医師数を毎年増やし続ければ、将来、医師過剰問題が起こってくることは間違いないと思われます。現在、国内には98,000件を超える診療所が開設されており、そこへ毎年、約5,000件が新しく開業していると聞いています。深刻な問題である「医師不足」の裏では逆に「診療所」市場は激しい競争状態にあると言えます。小生がなぜ、このような事を危惧するかと言いますと、今まさに問題となっている「歯科医師過剰問題」があるからです。歯科医師数はす

でに適正数をはるかにオーバーし、現在、歯科医院の数はコンビニの1.5倍といわれ、町を歩けば、歯科の看板が目につくほどであるとさえ言われています。そしてその大半は経営困難であるとのこと。その結果、国は増え過ぎた歯科医師の数を減らすため、国立大学の統廃合や、定員削減を図るとともに、国家試験合格者の絞り込みまで考えているようです。歯科医院の経営困難は少子化のための患者数減と、2000年以降の相次ぐ診療報酬のマイナス改定、また73項目にわたって20年間保険点数が据え置きのままという事などに起因しています。国はこれらのことには手をつけず、歯科医師数削減のための政策だけを取ろうとしているようです。先ほど診療所の数が98,000件と書きましたが、コンビニの店舗数は実は全国で42,000件であり、単純計算では診療所の数はコンビニの2.3倍ということになります。単科の歯科とは違って、診療所には様々な科がありますから、この数字をもって診療所が過多であるとは言えないと思いますが、現在の勤務医の「医師不足」に対し、単に医師数を増やせばよいという問題ではありません。現在の医師不足（地域隔差、診療隔差）は、初期研修制度の義務化、また医療費抑制政策のつけがまわってきた結果であり、これらの問題を解決しなければ根本的解決などあり得ません。昨今の医学部入学定員増はいずれは、現在の歯科医師過剰問題と同じように、われわれ医師の世界にも「医師過剰」問題として将来起こってくるに違いない、と心配している次第です。

さて、今回かかりつけ医としてご紹介する先生は、金沢市の藤本敏博先生です。日頃から北陸病院のオープンベッドをよくご利用頂いておりますが、共同診療を受けている患者様からも安心の声をお聞きします。今後とも、ますます病診連携を強めていきたいと思っています。また院内の紹介としては、4月から当院に迎え入れた坂下Drと森下Drの自己紹介をご覧頂きたいと思います。さらに当院では7月よりDPCを開始します。この包括医療制度に立ち遅れないように、当院では診療情報管理士の山田を中心に十分な対策を練ってきました。今回号（Vol.11）では、山田からDPCに関する情報もご披露したいと思っています。

それでは次回は、今秋頃にまたお目にかかりたいと思います。

入院医療費の計算方法が変わります



診療情報管理室
山田雅之

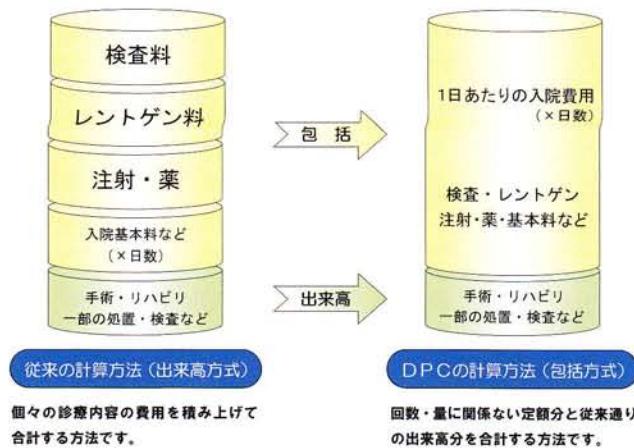
当、北陸病院は平成19年にDPC準備病院に手上げをし、2年間の調査期間を経て、この7月1日よりDPC対象病院となりました。今回、診療情報管理士という耳慣れない職種から、DPCについて説明させていただきます。

当初、DPCは平成15年から82の大学病院の本院などの特定機能病院に導入され、年を重ねるごとに全国の急性期病院へ拡大していきました。現在では、1400を超える病院がDPCに参加し、その数は45万床におよぶほどです。この病床数は、全国

の一般病床の約半分を占め、大規模な三次救急から地域の中核病院まで、大半の急性期病院にDPCが導入されたこととなります。

さて、DPCというと、真っ先に医療費の包括評価という医療費請求制度の側面がクローズアップされますが、そもそもDPC (Diagnosis Procedure Combination)は、日本独自で開発された診断群分類です。絶対的評価が困難な日進月歩の医療の世界において、サービスの質を測定し、評価をおこなうためには相対的評価が中心となります。相対的評価をおこなうためには比較の単位が必要となり、DPCという診断群分類が開発されました。

より質の高いサービスを提供する。そのためには、サービスの質を測定し、評価をしなければならない。その一点において、DPC対象病院として歩んでまいります。



ドクター紹介



消化器科医長
坂下 俊樹

平成21年4月よりKKR北陸病院に勤務
させていただいております坂下です。

卒後18年、内科(とくに消化器内科)を中心に医療に携わ
てきました。消化器内科では消化管(食道、胃、腸)、肝臓、胆嚢、
胆管、膵臓等の病気を担当しております。食欲がない、胸やけす

る、おなかが痛い、便が黒い、体が黄色いなどの症状の方や症
状がなくても検診で異常を指摘された方はぜひ受診してくだ
さい。もちろんそれ以外の内科の病気の方もお気軽にご相談
ください。できるだけわかりやすく、丁寧な診療を心がけてい
きたいと思っております。

一生懸命がんばりますのでよろしく申し上げます。

かかりつけ医紹介

ふじもとクリニック ・ 藤本 敏博 先生

診療科目	内科、胃腸科、外科
診療時間	9:00～12:00 14:00～18:00
休診日	日曜、祝日、水曜・土曜午後
住所	〒921-8112 金沢市長坂3-9-2
TEL	076-280-7711
FAX	076-280-7122



2001年(平成13年)10月、金沢大学がん研究所附属病院が金沢大学医学部附属病院と統合された直後に、私は約15年勤務した金沢大学を退職して当院を開業しました。その昔はがん研外科で故磨伊正義教授の指導のもと、主に胃癌・大腸癌の診療に明け暮れていました。「外科医は、内科医ができることは全てできなければならない」という教育方針でしたので、「診断から治療まで、つまり胃透視や超音波内視鏡、ERCP、TCF等の検査から手術、術後管理、化学療法等まで全て自分でやる、そして内科の澤武紀夫教授の回診もある」という、今思えば恵まれた環境でした。その縁もあって、開業後は金沢大学がん研究所内科(現在:がん

高度先進治療センター)の診療従事者となり、今も大学病院での研究、診療にも参加させていただいています。

当院では消化器内視鏡検査とくに早期胃癌の発見に力を入れています。(100件の内視鏡検査につき1件の早期胃癌を発見することを命題としています)。また、慢性疾患、発熱・腹痛・咳などの急性疾患に対応しています。

北陸病院には消化器疾患、急性期疾患の患者さんの検査や入院、そして時間外の診療をお願いする機会が多く、大変お世話になっております。俗にいう公務員的でない対応に感謝するとともに今後大いに期待しています。



外科医長
森下 実

平成21年4月より北陸病院外科に勤務となりました。今年で医師として17年目になります。平成5年に大学を卒業後、金沢大学第一外科(現在の心肺総合外科)に入局しました。1年目は大学で研修医として過ごしましたが、その最後の3ヶ月間で肺グループの配属となりました。この時にオーブンとして清水先生、チューベンとして荒能先生が在籍されておりまして、昼夜を問わず厳しいご指導を受け、大変お世話になった思い出があります。また学位実験が終了したかしないかの5年目の後半に富来の向病院に向向した際、その当時富来病院には足立先生が勤務されていました。狭い町の中で同門とのことで何度か飲み会をご一緒させていただき、冬の能登での単身のさびしい気持ちを癒していただいた思い出が

あります。その後も公私ともどもお世話になっております3人の先生方と今回、同じ職場で仕事をさせていただくことを大変光栄に思っています。

北陸病院には今から14年ほど前に内視鏡や手術の麻酔などでお手伝いさせていただいていたことがあります。それ以来、久しぶりに訪れた病院は開放感のある新しい病院に変わっていました。その開放感のあるなかで、スタッフそれぞれが責任をもって行動し、連携もしっかりしており、とても働きやすい病院であると感じています。また外科に関しては、ほぼ全ての分野での手術に対応可能であり、これまでに消化器外科を主に行ってきた自分にとってはなかなかお目にかからないような手術のお手伝いに入る機会も多くなり、とても刺激的な日々を過ごさせていただいております。

赴任後も病院としては電子カルテ、DPC等新しいシステムに変化していております。この変化のなかで少しでもお役にたてるように一生懸命頑張りますので何卒よろしくお願いいたします。

外来担当医表

平成21年7月現在

受付時間 8:20 ~ 12:00						受付時間 13:00 ~ 17:00						
午前	月	火	水	木	金	午後	月	火	水	木	金	
内科	初診	伊藤 (循環器)	高山 (糖尿病)	篠崎 (消化器)	追分 (循環器)	9:30~ 道下(腎臓)	初診	追分 (循環器)	坂下 (消化器)	14:00~ 道下(腎臓)	坂下 (消化器)	伊藤 (循環器・禁煙外来)
	二診	高山 (糖尿病)	追分 (循環器)	追分 (循環器)	増永 (消化器)	高山 (糖尿病)	二診 ~15:15 増永(消化器)	道下 (腎臓)	高山 (糖尿病)	14:00~ 高山	13:45~15:15 増永(消化器)	
	三診	篠崎 (消化器)	伊藤 (循環器)		10:00~ 川尻(脂質代謝)	篠崎 (消化器)	三診			看護師(第2木) 足相談外来		
	四診		篠崎 (消化器)		伊藤 (循環器)	藤井 (リウマチ外来)	四診		看護師(第4水) 足相談外来	13:30~ 坂井(神経内科)		
外科	一診	清水	足立	荒能	荒能	清水	外科					
	二診	足立	荒能	清水	清水	荒能	血管外科		14:00~ 大竹・木村			
整形外科	小林	小林	小林	小林	小林	呼吸器外科		14:30~ 小田・松本				
泌尿器科	藤田	藤田	藤田	藤田	藤田	整形外科		14:00~ 胃腸部外来 小林(初診)(要予約)			14:00~ 胃腸部外来 小林(初診)(要予約)	
						泌尿器科		藤田		藤田	藤田	

内科 —— 診療時間 [9:00~12:30 13:30~17:15]
スリム外来は毎月第1・3木曜日(午後14:00~15:00)です。
足相談外来は毎月第2木曜日と第4水曜日です。禁煙
外来は毎週金曜日
(14:00~17:00)です。
リウマチ外来は毎週金曜日(9:00~12:30)で
完全予約制です。

神経内科 —— 診療時間 [13:30~16:30]
診察日は、隔週の木曜日です。(内科外来でご確認下さい。)

外科 —— 診療時間 [9:30~12:30]
午後の診療は手術・検査のため外来診察は行いません。
ただし、急患の場合はこの限りではありません。

※急患の方はこの限りではございません。※医師の診察日が変わることがあります。

上記以外にも訪問診療・訪問看護を行っています。休診日:土曜日・日曜日・祝祭日 年末年始(12/29~1/3) 創立記念日(11月9日)

整形外科 —— 診療時間 [9:30~12:30]
火・金曜日以外の午後診療は手術・検査のため行いません。
ただし、急患の場合はこの限りではありません。

血管外科 —— 診療時間 [14:00~17:00]
診察日は火曜日午後のみです。[第2火曜日は木村医師、
その他は大竹医師]

泌尿器科 —— 診療時間 [9:00~12:30 13:30~17:15]
午後の診療は手術・検査のあるときは、外来診察ができない
場合がありますので、ご予約下さい。

呼吸器外科 —— 診療時間 [14:30~17:00]
診察日は火曜日午後のみです。
(第1火曜日は松本医師、その他の週は小田医師)

編集後記

今年度新メンバーとして、主に退院調整支
援看護師長と事務担当者の2名が加わり、
ゆとりを持った地域連携室となりました。
更に患者様、地域のみなさまにお応えでき
る地域連携室としていきたいと思ひます。
宜しくお願い致します。



看護師長 水島

事務担当 本山

北陸病院 地域医療連携室

〒921-8035 金沢市泉が丘2-13-43

TEL 076-241-1259 FAX 076-243-1292 URL <http://www.hokuriku-hosp.jp/>

